

1-2 一過性脳虚血発作（いっかせいのうきょけつほっさ）

一時的に脳の血液が滞って、脳に酸素が乏しい状態（虚血）となり症状が出るが、24 時間以内に何ら症状や後遺症を残さない経過をたどる疾患。

原因として、脳の動脈硬化や微細な塞栓、あるいは脱水状態などにより粘り気を増した血液により、一時的に動脈閉塞が起こることによると考えられている。

高齢者に多く、元には戻らない不可逆的な脳梗塞に移行しやすいので注意が必要。

主な症状	<ul style="list-style-type: none"> ● 左右どちらかの上肢や下肢に、運動障害または感覚障害が起こることが多い。 ● 軽度の運動麻痺があったとしても、24 時間以内に症状がすべてなくなる。 ● 24 時間以内に消失する、虚血による一過性の脳局所症状。
------	--

生活上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ● 脳梗塞の前触れとして、見過ごしてはいけない危険な発作である。 早期診断・治療が脳卒中を防ぐ。一過性脳虚血発作を疑ったら直ぐに専門医に受診する。 ● 生活習慣改善 <ul style="list-style-type: none"> ・ 食生活はバランスの良く、塩分は1日6g未満にし、コレステロールの多い食品・飽和脂肪酸の多い食品は控えめに、食物繊維の多い食品を多くとる。 ・ 脱水を起こさないよう水分摂取に注意する。 ・ 禁煙、大量飲酒を控える。 ・ 適度な有酸素運動を行う。 ● 毎日、決まった時間（起床時）に血圧測定・記録を習慣づける。 ● 処方された薬は、指示された方法で、適切に服用する。 ● 眩暈、立ち眩みなどによる転倒防止。 ● お薬手帳の所在、内容を普段から知っておく。
---------	--

ケアマネジメントのポイント	<p>〈支援者の留意点・視点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 服薬管理は自立できているか評価、できていなければサポートする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 薬物療法の指導と服薬確認を行う…指示された方法で、適切に服用させる。 ・ 継続服用による副作用や事故が生じていないか注意、副作用症状や体調の変化に気付いたら医師・看護師に報告するよう指導する。 ● 一過性脳虚血発作を疑ったら直ぐに専門医に受診を勧める。 ● 受診のための通院手段（救急車、寝台車、タクシー）手配等。 ● 発症時の年齢、血圧、症状とその持続時間、糖尿病の有無により点数化した ABCD2 スコアは、一過性脳虚血発作のなかでとくに脳梗塞へ移行する危険性の高いのに役立つ。
---------------	--

代表的な薬	<p>◎ 出血する可能性のある検査や処置を受ける場合には、事前に薬を服用していることを伝えて相談すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 抗血小板薬（バイアスピリン、プラビックス、プレタールなど）
-------	--